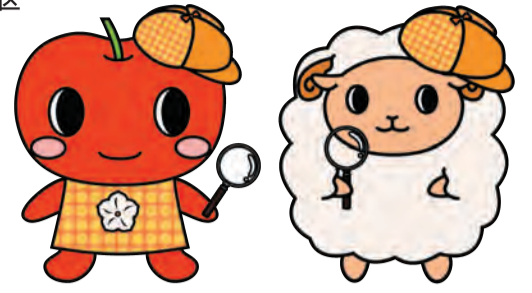
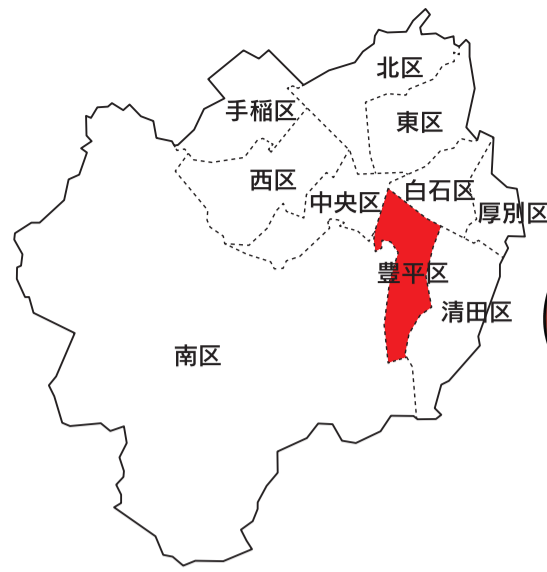


豊平区



豊平区キャラクター：こりん・めーたん

食べてアクション！SDGs

給食を通しSDGs（持続可能な開発目標）について学ぶ

豊平区の小中学校では、「食べてアクション！SDGs」という取組を行っています。「SDGsとは何か？」から始まり、今まで取り組んできた「フードリサイクル」や「地産地消」の取組がSDGsの達成につながることを学びます。新たなテーマも取り入れながら、子どもたちが毎日の給食を通して、「SDGs」について学ぶことができるよう工夫をしています。



食べてアクション！SDGs
SDGsってなんだろう？

さいきん、SDGsってことばをよく見かけるけど、なんだろう？

SDGs(エスディーゼーズ)とは、これからも安心して地球でくらしつづけるため、地球をだめにならないための17の目印のことです。たとえば、こんな目印がありますよ。

なるほど、そうだったんだ！
もし目印を守れなかったら、どうなるのかな？

地球のかんきょうが悪くなって、くらくらなくなってしまいます。地球には今もいっぱい生きている生き物たちがたくさんいます。また、おなかいっぱい食べられる人がいる一方で、ごはんを食べられない人がいるなど、びょうどうではない世界にもなってしまいます。

それはたいへんだ…でも、なんだかむずかしそう…自分たちができることはあるのかな？

毎日のきゅう食、食事の中で、みんなにもできることがたくさんあります。今年1年きゅう食を通してどんなことができるか、みんなできつよに勉強していきましょう！

食べてアクション！SDGs
フードリサイクルにとりくもう！

フードリサイクルってなに？

フードリサイクルたいひで育った野菜で、給食を作ります。これをたべると、元気がでるよ。いいこといっぱいあるね。

野菜や果物の皮、食べ残したものをリサイクルセンターに運び、土の中にもどします。

みんながよくたすけあい

栄養いっぱいたいひが入ったふかふかの土で、大きく、おいしい野菜がそだちます。

土の中で、微生物のはたらきによって「たいひ」ができます。

「ごみ」としてすてられてしまう野菜や果物の皮、食べ残しを再利用するんだね。

フードリサイクルに取り組むことで、ごみをへらせるんだね！

フードリサイクルの取組は、SDGsの目標12「つくる責任 つかう責任」の達成につながります。

配付のプリントでは、住む場所を奪われて困っている動物たちも紹介しています。

どうぶつ 豆知識

第4回目はオオワシです。

日本にいるワシ(タカ類)の中で、いちばん大きい種類です。夏はロシアの寒い地域、冬は北海道などで過ごしています。

人間が森の木を切ったことで住む場所がなくなったり、狩りが原因で数が減ったりしています。

きゅうしょくで、できること

ちさん ちしょう ことば

地産地消の言葉をおぼえて

ほっかいどう

北海道でとれた たべものをしっかりとべよう

きゅうしょくで、できること

フードリサイクルで

そだ

育ったレタスを のこさず食べよう

SDGsを達成するために、給食時間でできることを考える

「食べてアクション！SDGs」の取組で配付される資料のなかには、必ず「給食時間でチャレンジすること」が記載されています。自分の行動が「SDGs」の達成につながることを子どもたちに感じてもらうための工夫です。実際に「食品ロス」がテーマのときに「苦手な食べものを一口チャレンジ」を呼びかけたところ、給食の残量が減った学校もありました。「SDGsを達成するために自分は何ができるのか？」ということ子どもたちが考えられるようにしています。